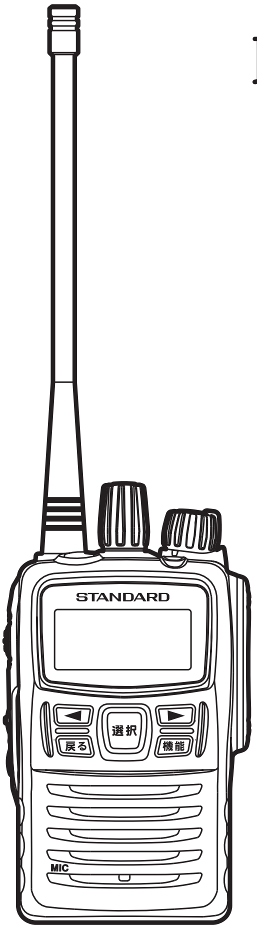
STANDARD

デジタル簡易無線電話装置
VXD450U
取扱説明書



無線局種別コード：3B（免許局） 4値 FSK 変調　簡易な業務用

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目　次

お客様へ.. 1
防水性について.. 1
メンテナンスのお勧め................................ 1
安全上のご注意.. 2
ご使用にあたっての準備............................ 5
構成品... 5
各部の名前と機能..................................... 6
　　本体.. 6
　　液晶表示部....................................... 8
LED インジケーターの動作概要 8
ベルトクリップの使いかた.......................... 9
電池パックの取り付け / 取り外し............... 10
　　リチウムイオン電池パックを取り付ける.... 10
　　リチウムイオン電池パックを取り外す....... 10
　　電池の消耗について........................... 10
リチウムイオン電池パックの充電方法.......... 11
通信の基本操作....................................... 12
通信について.. 16
　　UC 通信.. 16
　　個別通信... 17
　　呼び出しを受けたとき.......................... 18
その他の基本ボタン操作............................ 19
　　モニターボタン................................... 19
　　録音ボタン.. 19
　　キーロックボタン................................ 20
　　選択ボタン.. 20
　　機能ボタン.. 21
　　緊急ボタン.. 21
個別通信設定と受信待ち受け画面について.... 22
簡易リスト.. 23
送受信メニュー....................................... 26
拡張機能 (コールモード) 30
拡張機能 (セットモード) 44
オプションマイクの取り付け...................... 57
キャリングケース“LCC-D450”の使いかた..... 58
故障かな？と思う前に... 60
アフターサービス... 60
定格.. 61
オプション... 63

お客様へ

● **お願い**

◎ 本体背面に貼り付けてある"証明ラベル"を剥がしたり、"分解"や"改造"を行うことは、法律で禁止されています。

◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。

◎ 本機に外部マイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正のオプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。

◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。
販売店にて、これらの設定を変更している場合は、操作方法が異なる場合があります。詳しくは、設定の変更をおこなった販売店にお問い合わせください。

◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店または、八重洲無線株式会社国内営業部（電話：03-6711-4055）に御依頼ください。

防水性について

本機は、IEC 国際規格 IP67 相当 (防塵等級 6 ※1、防水等級 7 ※2）の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のキャップ、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。

◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。

◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。

◎ 本機は、水中での使用はできません。

※１：粉塵が内部に侵入しない。

※２：水深 1m の水没に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと。

メンテナンスのお勧め

下記のいずれかに該当する場合は、メンテナンスをお勧めいたします。
なお、メンテナンス代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

- お買い上げから１年経過した後
- メンテナンスを行って１年経過した後
- 落下や衝撃が加わった場合
- キズ劣化等が確認された場合

安全上のご注意　～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

危険　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

行ってはならない禁止事項です（例　分解禁止）。

必ず守っていただきたい注意事項です。

危険

自動車を運転しながら使用しない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてから操作してください。

航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります。

電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。

電源端子をはんだ付けやショートをしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。

リチウムイオン電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

警告

分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局です。
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

本機は、"IP67 相当"の防浸構造になっておりますが、特に海水などがついたときは水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる
性能や寿命を低下させる原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカー装着者は使用しない
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

当社指定以外の充電器を使用しない
火災や故障の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオン電池パックを外す
火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店または、八重洲無線株式会社国内営業部に修理をご依頼ください。

心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意

指定以外のオプションを使用しない
故障や破損の原因になります。

アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしない
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。

アンテナを折り曲げたりしない
アンテナの変形や破損の原因になります。

強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックを、指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～ 35℃です
これ以外の温度での使用は、故障の原因になります。

磁気カードなどを無線電話装置に近づけない
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。

人の多い場所では使用しない
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。

無線電話装置を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない
変形や変色等の原因になります。

シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

小さなお子さまの手の届かない場所に保管する
ケガなどの原因になります。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.
U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

ご使用にあたっての準備

● 簡易無線局免許申請

本機は電波法に基づいて技術基準適合証明を取得していますので、簡単な手続きにより簡易無線局免許を取得して、ご利用いただくことができます。

本機は、「ARIB STD-T98［デジタル簡易無線機］とSTD-10［（アナログ）簡易無線機］」に準拠し、アナログチャンネルでも運用可能なデジタル簡易無線機です。また、他社互換デジタル通信モード“ユーザーコード通信”に対応しておりますので、互換を示す種別コード「3B」の他社デジタル簡易無線機と通信することができます。

● 使用形態にあわせた設定

ご利用については、簡易無線局免許に基づいた基本設定や、ご使用の形態にあわせたカスタマイズが必要になります。

ご購入に際し当社販売店とご相談の上、無線機の設定を行ってください。

◎ 基本設定

デジタル運用に必要なUC（ユーザーコード）や秘話コード、アナログ通信にはトーンスケルチ又はデジタルコードなどを設定します（購入時に販売店で設定を行います)。

◎ カスタム設定

ご利用形態にあわせた個別通信機能（個別選択呼出し機能）のIDや名称設定などをおこないます。購入時に販売店とご相談の上、設定をおこなってください。

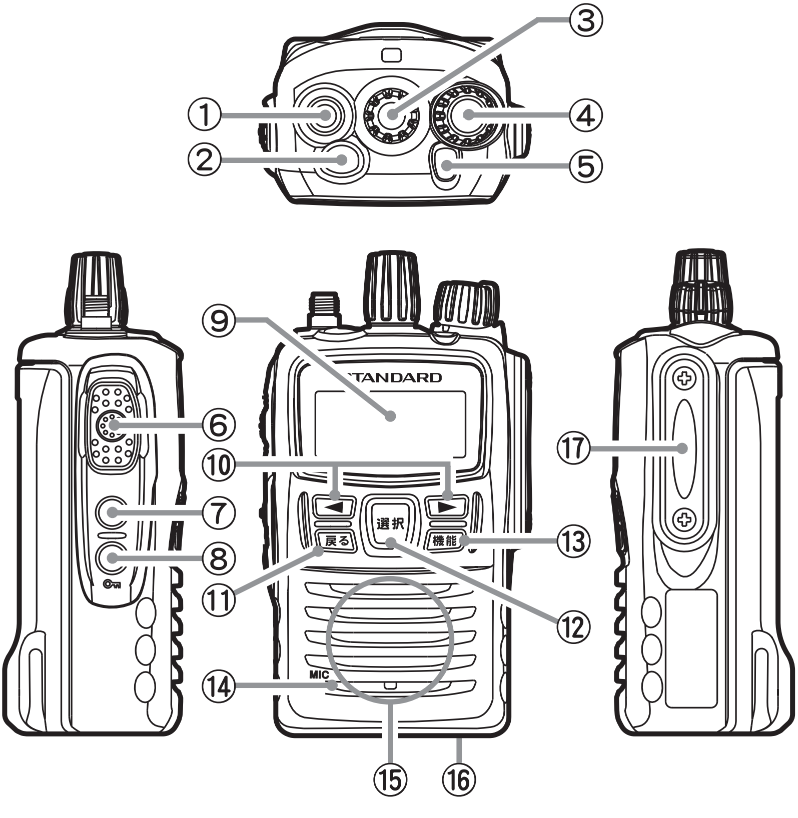
電波法の改正により、アナログチャンネルは2022年11月をもって利用することができなくなります。
この際、本機の設定が必要となりますので、お早めにお買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

構成品

◎ 本体	1	◎ ダミーボード	1
◎ 空中線（アンテナ）	1	◎ 取扱説明書（本書）	1
◎ ベルトクリップ	1	◎ 保証書	1
◎ MIC/SP 端子カバー	1		

各部の名前と機能

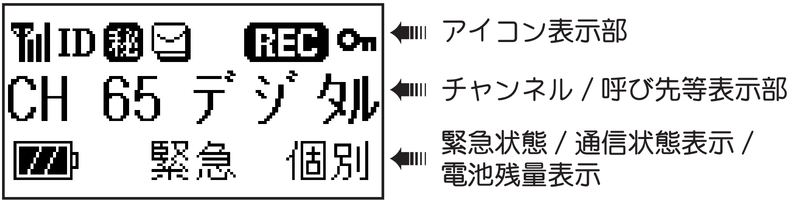
■本体



① アンテナコネクター	アンテナを接続します。
② 緊急ボタン	緊急時に約２秒間押し続けることで、緊急モード動作になります（21 ページ参照）。
③ ロータリースイッチ	チャンネル、呼び出す相手先の変更や、拡張機能の項目選択時にまわします。
④ 電源スイッチ／音量調節ツマミ	電源の ON/OFF と音量の調節をします。

⑤ LED インジケーター	受信中は通信モードにより“緑色”“水色”“青または白色”の点滅、送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。バッテリーが消耗時は、“赤色”で点滅します。
⑥ PTT ボタン	PTT ボタン (通話ボタン) を押すと、無線機は送信状態になります。放すと待ち受け / 受信状態になります。
⑦ モニター / 録音ボタン	◎ アナログ通信時 無線チャンネルをモニターするときに押します。 ◎ デジタル通信時 受信音声の録音の開始 / 停止を行います (19 ページ参照)。
⑧ キーロックボタン	２秒間押し続けると、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます。もう一度２秒間押し続けるとロック解除となります。
⑨ フルドットディスプレイ	各種状態や情報を表示します。
⑩ ◀/▶ ボタン	チャンネル切替え及び個別選択呼出しの呼先個別番号 (ID 番号) の切替えをします。
⑪ 戻るボタン	各種設定を行っているときに、１つ前の状態に戻すことができます。
⑫ 選択ボタン	◎“選択”ボタンを押しながら“電源”スイッチをまわすことで拡張機能画面になります。 ◎ 選択呼出し表示中、「一斉 ➠ グループ ➠ 個別 ➠ 一斉・・・」の順番に切替わります。 ◎ ２秒間押し続けると、“アナログチャンネル”と“デジタルチャンネル”を交互に切り替えることができます。
⑬ 機能ボタン	デジタル運用方式の個別通信モードでは、２秒以上押し続けることにより送受信メニューに切り替わります (26 ページ参照)。
⑭ マイク	この位置にマイクが内蔵されています。
⑮ スピーカー	ここから相手の音声や操作音が聞こえます。
⑯ ノイズキャンセリング孔	周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するために設けられています。この穴は塞がないようにしてください。
⑰ MIC/SP 端子	スピーカーマイクなどのオプションを接続します。

■液晶表示部



	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて 4 段階で表示します。 送信時：5W 出力時は“ ”、1W 出力時は “ ” が点灯します。
ID **CH**	ロータリースイッチの動作表示 **ID**：呼び先選択機能として動作します。 **CH**：チャンネル選択機能として動作します。
秘	秘話（デジタルモードで秘話運用の場合に点灯します）
	メッセージ ショートメッセージ送信中および、受信中に点滅します。
REC	録音メモアイコン 音声メモ機能が動作中（録音中）に点灯します。
	キーロック 設定されたボタンやツマミがロックされ、無効の状態の時に点灯します。

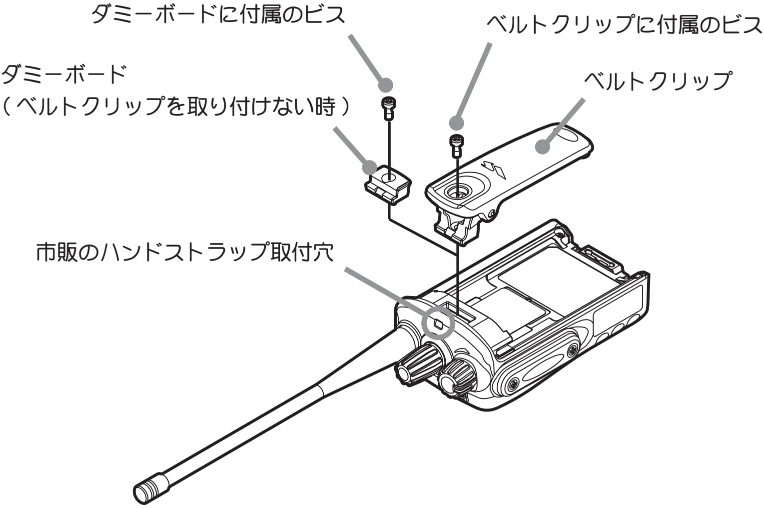
LED インジケーターの動作概要

LED インジケーターは通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

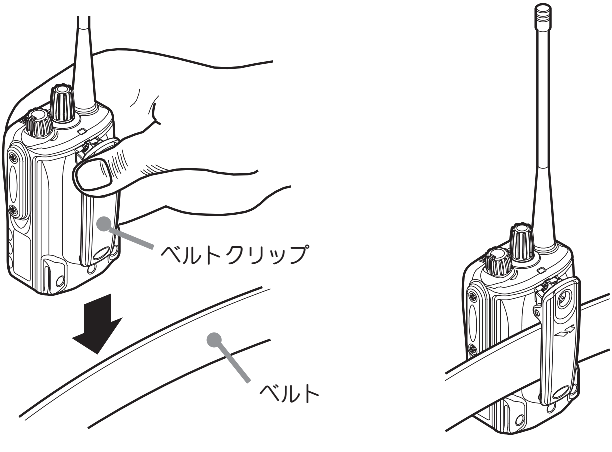
LED の色・状態	通信（動作）状態
緑色点滅	アナログ通信受信時、デジタル UC 通信受信時、他局通信時
緑色点灯	モニター動作時
赤色点灯	アナログ通信送信時、デジタル UC 通信送信時、 デジタル個別通信送信時
青色点滅	デジタル秘話 UC 通信受信時、デジタル秘話個別通信受信時
青色点灯	デジタル秘話 UC 通信送信時、デジタル秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、デジタル秘話個別通信での、通話保持時間 の時（および不在着信時）
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

ベルトクリップの使いかた

① リチウムイオン電池パックまたは、アルカリ単３乾電池ケースを外します。
② ダミーボードを外し、ベルトクリップに付属しているビスで、ベルトクリップを取り付けます。



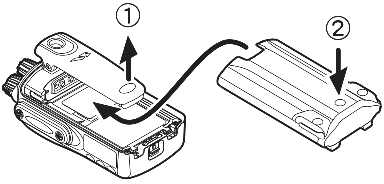
ベルトクリップの先端を指で押し、ベルトへ確実に取り付けてください。



電池パックの取り付け / 取り外し

リチウムイオン電池パックを取り付ける

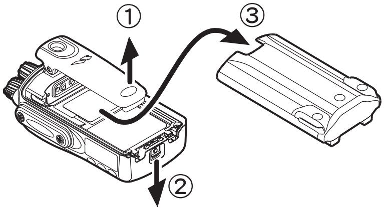
① ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます。
② リチウムイオン電池パックの背面を押しながらスライドし、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。



● 電池パックが確実に取り付けてられていないと、落下事故や故障の原因になります。
● 機能性を確保するため、電池パックと本体との接合は、きつく設計されています。

リチウムイオン電池パックを取り外す

① ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます。
② ロックレバーを矢印の方向に下げます。
③リチウムイオン電池パックを下側に引きながら外します。

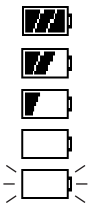


● ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。
● 機能性を確保するため、電池パックと本体との接合は、きつく設計されています。

電池の消耗について

電池が消耗すると、ディスプレイの電池マークが下記のように変化します※。
電池マークが点滅し、LED インジケーターが赤色に点滅した時は、直ちに充電を行ってください。

※ 消耗状態を正しく表示させるため、“セットモード”の“F-16 電池残量表示”（55 ページ参照）で、使用する電池の種類を設定してください。



十分使えます
まだ使えます
残りわずかです
空になりました
すぐに充電してください

リチウムイオン電池持続時間※

FNB-V86/-V118 ｼﾘｰｽﾞ	約 8 時間
FNB-V87 ｼﾘｰｽﾞ	約14 時間
FNB-V92 ｼﾘｰｽﾞ	約18 時間

※電池持続時間は「送信出力 5W 時、送信 5：受信 5：待ち受け 90」の測定条件になります。周囲の温度により使用できる時間が異なることがあります (特に寒冷地では使用時間が短くなります)。

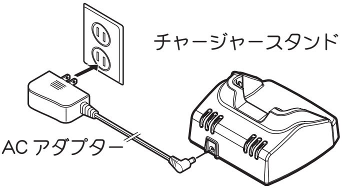
リチウムイオン電池パックの充電方法

オプションの急速充電器“VAC-50A”を接続して、リチウムイオン電池パックを充電します (下図参照)。

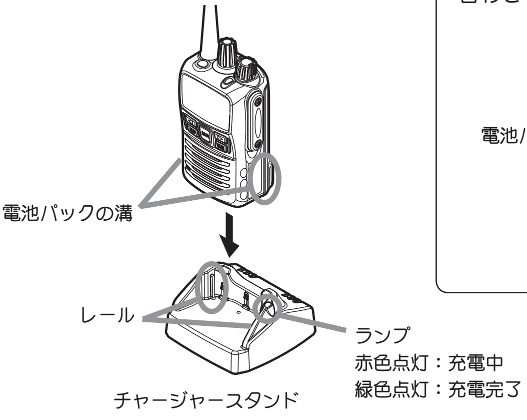
○リチウムイオン電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

充電時間	FNB-V86/-V118 シリーズ	FNB-V87 シリーズ	FNB-V92 シリーズ
	約 100 分	約 160 分	約 200 分

1．チャージャースタンドの背面にあるジャックに、AC アダプターのコネクターを差し込み、電源プラグをコンセント (AC 100V) に接続します。



2．電源を切った無線電話装置 (または電池パック) をチャージャースタンドに挿し込みます。



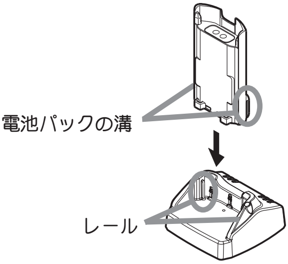
3．チャージャースタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプは緑色に変わります。

○充電終了後、AC アダプターをコンセントから外してください。

●長時間充電したままにしておくと、リチウムイオン電池パックを劣化させることがあります。

電池パック単体で充電する際のご注意

リチウムイオン電池パックを単体で充電するときは、リチウムイオン電池パックの溝をチャージャースタンド内側のレールに合わせて挿し込みます。

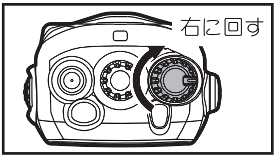


通信の基本操作

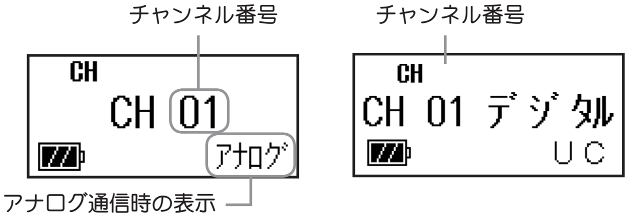
通信を行うには、あらかじめ、交信する相手と同じUC（ユーザーコード）を設定する必要があります。ユーザーコードの設定方法は、コールモードの「C02 UC(D)：デジタル通信の場合」（33ページ）、「C06 UC(A)：アナログ通信の場合」（36ページ）をご覧ください。

① 電源を入れます

電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。



○ ディスプレイに起動画面が約1秒間表示され「ピポッ」と電子音が鳴り、現在のチャンネルがディスプレイに表示されます。



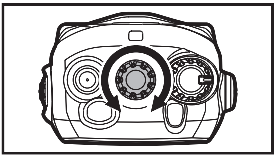
② 音量を調節します

音量調節ツマミを10～11時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が最適な音量になるよう、音量調節ツマミで調節します。

○ アナログ通信の場合は、モニターボタンを押しながら（「ザー」という音が出ます）、音量調節ツマミで音量を調節します。

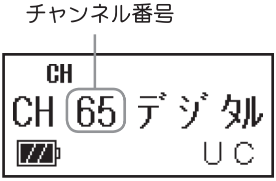
③ チャンネルをあわせます

ロータリースイッチをまわして（または“◀/▶”ボタンを押して）、通話したい相手と同じチャンネルにあわせます。



○ ディスプレイに“CH”が点灯しているときはロータリースイッチで、“ID”が点灯しているときは、“◀/▶”ボタンでチャンネルを選択してください。この設定は“セットモー

ド”の“F04　ロータリー”で行うことができます（47 ページ参照）。
○ アナログ通信で使用できるチャンネルは、“CH 01”～“CH 35”です。
○ デジタル通信で使用できるチャンネルは、“CH 01　デジタル”～“CH 65 デジタル”です。

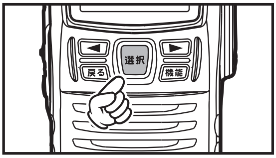


④ 呼び出し方法を選びます

○ 特定の相手を選択する“個別通信”を行うには、あらかじめ通信方式や自局 ID、グループ ID を設定する必要があります（30 ページ）。
○ 特定の相手を選択する必要が無い場合は⑥に進んでください。

“選択”ボタンを何度か押して、呼び出し方法を選びます。

※ “選択”ボタンを押して“グループ”と“個別”を表示させたときは、登録された ID の一番若い値が表示されます。



同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出したいとき

デジタル通信時

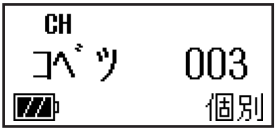
アナログ通信時

特定のグループに属する、全ての局を一斉に呼び出したいとき

デジタル通信時

アナログ通信時

特定の相手局を呼び出したいとき

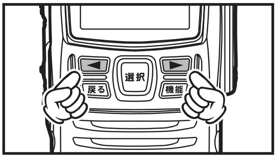


デジタル通信時

アナログ通信時

⑤ 呼び出し先を選びます

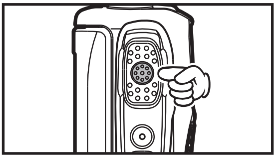
特定の相手やグループを呼び出したい時は、“◀ / ▶”ボタンを押して（またはロータリースイッチをまわして）、“個別 ID”または“グループコード”を選択します。



○ ディスプレイに“CH”が点灯しているときは“◀/▶”ボタンで、“ID”が点灯しているときは、ロータリースイッチで、呼び出し先を選択してください。この設定は“セットモード”の“F04 ロータリー”で行うことができます（47 ページ参照）。

⑥ 送信（通話）します

PTT（通話）ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。



○ 混信を防ぐため、他の無線局が話をしていないとき（LED インジケーターが緑色に点滅していないとき）に、送信するようにしてください。

○ マイクロホンと口元の間隔は、5cm 位が適当で、普通の声で話します。

○ 送信中は、LED インジケーターが赤色または青色に点灯し（ 8 ページ参照）、ディスプレイに“📶”が点灯します（送信出力が“Low 固定（1W）”に設定されている場合は“📶”が点灯します）。

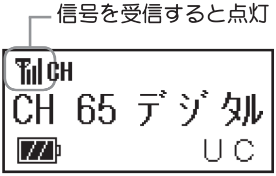
○ 連続送信時間は 5 分未満と決められています。本機では送信を開始してから約 4 分 50 秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から 5 分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのまま PTT ボタン（送信ボタン）を押し続けた場合、送信を開始してから 5 分間経過すると、その後 1 分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

⑦ 相手の音声を受信します

PTT（通話）ボタンを放すと、相手の話を聞くことができます。

○ 信号を受信すると、LEDインジケーターが点滅し（8ページ参照）、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナマーク”が点灯します（最大3本）。

○ 個別通信の場合、相手の話が終わると通話保持時間（初期値は5秒）がお互いに設定されます。応答は、通話保持時間（応答待ち時間）の間に行ってください。

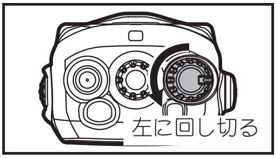


⑧ 電源を切ります

電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。

○ 一週間以上使用しない場合は、リチウムイオン電池パックが消耗しないように、トランシーバーの電源を切り、トランシーバーから電池パックを外してください。

○ ロータリースイッチを切り替えて2秒以内に電源を切ると、電源を切る直前に設定したチャンネルは記憶されません。



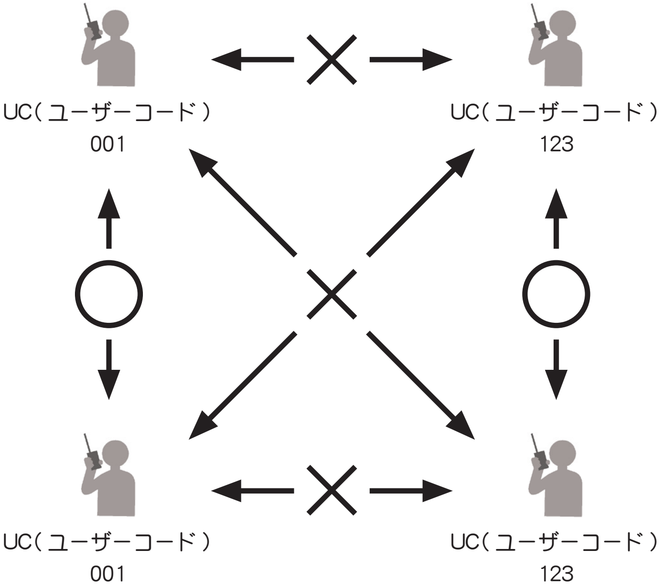
通信について

UC 通信

全員が同じチャンネル番号にあわせていても、同じ UC（ユーザーコード）を設定している者同士だけが、通話することができる通信方式です。

本機は、あらかじめ UC（ユーザーコード）がデジタル通信では“000”、アナログ通信では“01”に設定されていますが、コールモードの「C02 UC(D)」(33 ページ）または「C06 UC(A)」(36 ページ）で、変更（デジタル通信：000 ～ 511、アナログ通信：00 ～ 99）することができます。

例：デジタル通信での UC 通信



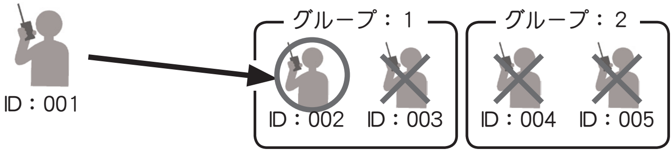
個別通信

全員が同じチャンネル番号と UC（ユーザーコード）に合わせていても、特定の相手だけを呼び出したり（全員を一斉に呼び出すことも可能）、特定のグループに属する全ての局を呼び出して通話することができる通信方式です。

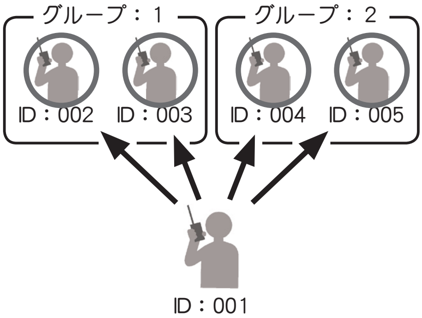
この通信方式を利用するには、各無線機に個別の ID 番号を設定する必要があります。個別 ID の設定方法は、コールモードの「C03 自局 ID(D)」（34 ページ）または「C07 自局 ID(A)」（37 ページ）をご覧ください。

例：デジタル通信での個別通信

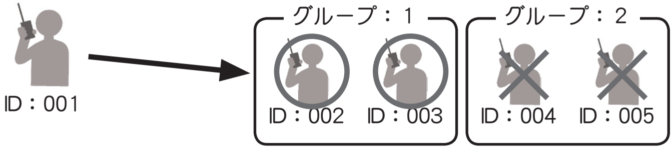
特定の相手だけを呼び出す



全員を一斉に呼び出す



特定のグループに属する全員を呼び出す



呼び出しを受けたとき

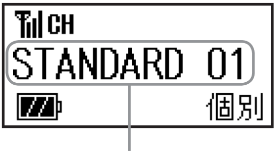
個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイ表示の点滅、電子音 (着信ベル)、LED の点滅により、呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話保持時間 (初期値は 5 秒) が設定されます。
すぐに応答することができなかった場合、通話保持時間が経過すると“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局 ID の表示が点滅します。その状態で PTT(通話) ボタンを押すと、相手局を呼び返すことができます。

不在着信状態をキャンセルする場合は、“戻る”ボタンを押してください。

個別通信で呼び出された方式 (個別、グループ、一斉) による電子音 (着信ベル) などの設定は、30 ページの“拡張機能”を参照してください。また、LED の表示については、8 ページの“LED インジケーターの動作概要”を参照してください。

個別呼び出しを受けたとき

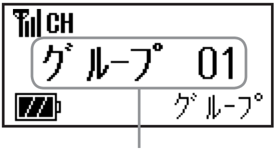
ディスプレイに、呼び出してきた相手局の ID が点滅表示されます。



相手局の ID

グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループの ID が表示されます。



グループ ID

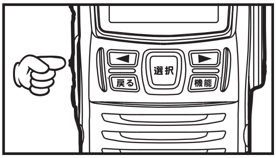
一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“一斉”が表示されます。

その他の基本ボタン操作

モニターボタン（アナログチャンネル時のみ）

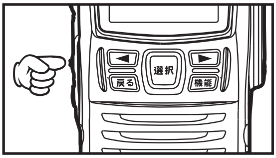
アナログ通信で運用中、モニターボタンを押すと、異なるトーンやデジタルコードの音声をモニターすることができます。



○ 相手の声が途切れて聞こえるときなどに押すと聞きやすくなる場合があります。

録音ボタン（デジタルチャンネル時のみ）

デジタル通信で運用中、受信している相手の音声を録音することができます。



録音のしかた

録音ボタンを押すと、録音を開始します。
再び録音ボタンを押すと、録音を中止します。

○ 録音可能な時間には制限があり、合計約 80 秒（録音状況により異なります）を超えると、録音することができなくなります。

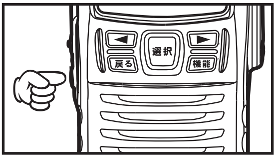
再生のしかた

録音された音声の再生は、簡易リストで行います。
24 ページの“録音メモ”を参照してください。

キーロックボタン

誤って各ボタンを押しても、チャンネルなどの設定が変わらないようにすることができます。

“🔑”ボタンを２秒間押し続けると、ディスプレイに“🔑”が点灯し、ボタンがロックされます。



- ○ キーロックが動作中に各ボタンを押すと、ビープ音が鳴ると同時に“- LOCK -”が表示され、ロック中であることを知らせます。
- ○ キーロックをしても、緊急ボタン、PTT（通話）ボタン、モニターボタン、ツマミ類はロックされません。
- ○ PTT（通話）ボタンまたはツマミ類についてはロックすることができます（販売店にご相談ください）。

ロックを解除するには

ロックが動作中に“🔑”ボタンを２秒間押し続けるとロックが解除されます。

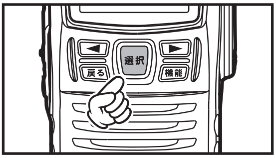
- ○ ディスプレイの“🔑”表示が消えます。

選択ボタン

ボタンの押し方により２種類の動作をおこないます。

◎ 呼び出し先リストの表示

個別通信運用時に、呼び出し先リスト（一斉、グループ、個別）を表示します。



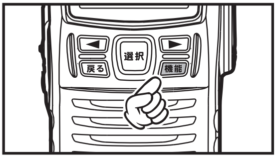
◎ 運用モードの切り替え

アナログ通信とデジタル通信の両方をご利用の場合、２秒間押し続けるとチャンネル表示に切り替わり、「アナログチャンネル」と「デジタルチャンネル」を切り替えます。

再度２秒間押し続けると、それぞれの運用モードで最後に設定されたチャンネルに切り替わります。

- ○ 個別通信で宛先画面を設定している場合は、約２秒後にチャンネル表示から呼び出し先表示に切り替わります。

機能ボタン



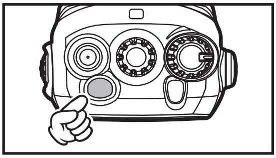
“機能”ボタンは、押し方により２種類の動作をおこないます。

◎ 簡易リスト
　２秒以内で押すと「簡易リスト」が表示され、録音内容の再生や、自局の UC、個別 ID、グループコードまた、無線機の周波数、トーンスケルチ周波数、DCS コードなどの情報を確認することができます。
　詳細は、23 ページの“簡易リスト”をご覧ください。

◎ 送受信メニュー（デジタル個別運用時のみ有効です）
　約２秒以上押し続けると「送受信メニュー」が表示され、“発着信履歴”や“ショートメッセージの送信や確認”、“アンサーバック（問い合わせ）”をおこなうことができます。
　詳細は、26 ページの“送受信メニュー”をご覧ください。

緊急ボタン

不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音と LED の表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して、他の仲間に緊急を知らせることができます。



“緊急”ボタンを２秒以上押すと、49 ページに記載の“F06　緊急モード”で設定した動作をおこないます。

○ 緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。

緊急信号を受信したとき

デジタル個別通信時に緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局の ID を表示し、LED インジケーターが白色で点滅します。
さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

○ 電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。
○ 緊急ボタンを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴り始めます。

緊急信号を受信したときに、PTT ボタン（送信ボタン）を押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”（同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出す）に切り替わり、緊急信号を発信した相手局に対して、音声での問いかけや、応答をすることができます。

個別通信設定と受信待ち受け画面について

デジタル通信方式とアナログ通信方式の両方をご利用になる場合、混信を防止するためデジタルチャンネルには“UC（ユーザーコード）”を、アナログチャンネルには“トーン”または“デジタルコードスケルチ”を設定してください。

また、個別通信を行う場合は、全ての無線機に“ID リスト”を作成し、それぞれの無線機に自局の ID を記憶させる必要があります。

なお本機には、あらかじめ仮の ID リストが作成されていますが、お客様の運用形態に合わせて、再構成することをお勧めいたします（設定は販売店が行いますので、お買い上げの販売店にご相談ください）。

	デジタル通信方式		アナログ通信方式	
通信方式と設定	個別通信運用	UC 通信運用	個別通信運用 （セレコール）	トーンスケルチ または デジタルコードスケルチ
必要な設定	UC と ID 設定	UC 設定	アナログ UC と アナログ ID 設定	トーン周波数 / コード

簡易リスト

待ち受け画面で“機能”ボタンを押すと、録音内容の再生や、自局の UC、個別 ID、グループコードまた、無線機の周波数、トーンスケルチ周波数、DCS（デジタルコードスケルチ）コードなどの情報を確認することができます。

項 目	設定値 / 表示項目	機 能
リピート再生	－	デジタル通信時に、自動で録音されている相手局の音声を再生します。
録音メモ	－	録音された音声を再生します。
自局情報	UC/ 個別 ID/ グループコード	自局の UC、個別 ID やグループコードを表示します。
無線機情報	周波数 /Tone	現在の周波数、トーンスケルチ周波数、DCS（デジタルコードスケルチ）コードを表示します。

リピート再生（デジタルチャンネル時のみ）

本機はデジタル通信を行っている際に、相手の音声を自動で録音しています。通話内容を聞き逃した時などに、内容を確認することができます。

○ 録音可能な時間は合計約 60 秒（録音状況により異なります）で、録音中にこの時間が経過すると、録音は中止されます。
○ 新たに開始される録音は、既に録音された内容に上書きされていきます。
○ 電源を切ると、録音された内容は消去されます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
② “リピート再生”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。
③ 録音件数が複数ある場合は、“◀”または“▶”ボタンで、再生したい件数を選択します。
④ “選択”ボタンを押すと、録音された内容を再生します。
　○ 再生中に“選択”ボタンを押すと、再生を中止します。
　○ 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。
⑤ 再生していない状態で“戻る”ボタンを押します。
　○ リピート再生を行う前の画面に戻ります。

相手局の情報を表示

録音件数を表示

録音メモ（デジタルチャンネル時のみ）

デジタル通信を行っている際に、録音ボタンを押して録音した相手の音声を再生することができます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。

② ロータリースイッチをまわして“録音メモ”を選択して、“選択”ボタンを押します。

③ “◀”ボタンを押します。

○ 録音された内容を消去したい場合は、操作②の後、以下の操作を行ってください。

1．▶ ボタンを押します。

2．◀ ボタンを押すと消去されます。

④ 録音件数が複数ある場合は、“◀”または“▶”ボタンで、再生したい録音番号を選択します。

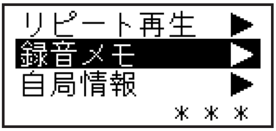
⑤ “選択”ボタンを押すと、録音された内容を再生します。

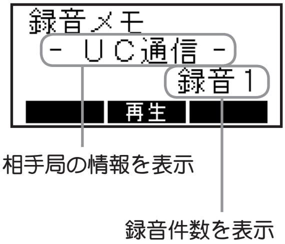
○ 再生中に“選択”ボタンを押すと、再生を中止します。

○ 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。

⑥ 再生していない状態で“戻る”ボタンを押します。

○ 録音メモ再生を行う前の画面に戻ります。

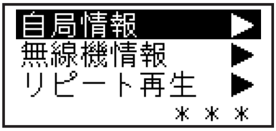


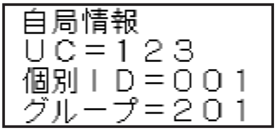


自局情報

無線機に設定してあるUC（ユーザーコード）、個別ID、グループコードを表示させることができます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
② ロータリースイッチをまわして“自局情報”を選択します。
③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示されます。
　○ アナログチャンネルとデジタルチャンネルでは、表示される内容が異なります。
④ “戻る”ボタンを押します。
　○ 情報を表示させる前の画面に戻ります。

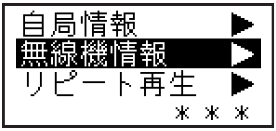




無線機情報

現在設定してあるチャンネルの周波数、トーンスケルチ周波数などを表示させることができます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押します。
② ロータリースイッチをまわして“無線機情報”を選択します。
③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示されます。
　○ アナログチャンネルとデジタルチャンネルでは、表示される内容が異なります。
④ “戻る”ボタンを押します。
　○ 情報を表示させる前の画面に戻ります。



送受信メニュー ～デジタル個別通信時で使用する機能です～

待ち受け画面で“機能”ボタンを約２秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発着信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

項 目	機 能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します（最大 10 件）。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します（最大 10 件）。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ（最大 10 件）を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します（最大 10 件）。

アンサーバック

待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを２秒以上押します。

② “アンサーバック”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押します。

③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示します。

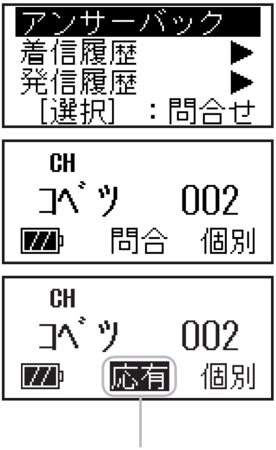
“応有”：相手局と交信可能な状態です。

“応無”：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。

※ 相手局が VX-D591UCAT の場合は、交信できる状態であっても“応無”となります。

④ “戻る”ボタンを押します。

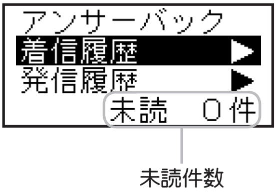
○ 結果を表示させる前の画面に戻ります。



問い合わせの結果

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン (送信ボタン) を押すと、表示されている ID の相手を呼び出すことができます。



① 待ち受け画面で“機能”ボタンを 2 秒以上押します。

② ロータリースイッチをまわして“着信履歴”を選択し、“選択”ボタンを押します。

③ 着信履歴が表示されます。

○ ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。

○ ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (▶ ボタンでキャンセル)。

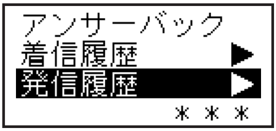
○ PTT ボタン (送信ボタン) を押すと、選択されている ID の相手を呼び出すことができます。

④“戻る”ボタンを押します。

○ 着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン (送信ボタン) を押すと、表示されている ID の相手を呼び出すことができます。



① 待ち受け画面で“機能”ボタンを 2 秒以上押します。

② ロータリースイッチをまわして“発信履歴”を選択し、“選択”ボタンを押します。

③ 発信履歴が表示されます。

○ ロータリースイッチをまわすと、発信履歴を切り換えることができます。

○ ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (▶ ボタンでキャンセル)。

○ PTT ボタン (送信ボタン) を押すと、選択されている ID の相手を呼び出すことができます。

④“戻る”ボタンを押します。

○ 発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

メッセージ送信

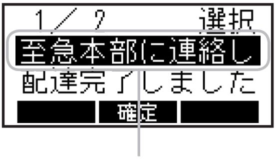
あらかじめ登録されたメッセージ（最大10件）を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押します。

② ロータリースイッチをまわして“メッセージ送信”を選択し、“選択”ボタンを押します。

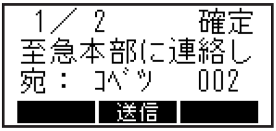
③ ロータリースイッチをまわして送信したいメッセージを選択し、“選択”ボタンを押します。



メッセージを選択

④ 再度“選択”ボタンを押すと、選択したメッセージを送信します。

○ メールマークが点滅します。



⑤ 個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示します。

“応有”： 正しくメッセージが届いた場合。

“応無”： 正しくメッセージが送られなかった場合。

⑥ “戻る”ボタンを押します。

○ メッセージを送る前の画面に戻ります。

メッセージを受信すると、ディスプレイに“✉”マークが点滅し、同時にメッセージを表示（スクロール）します。

メッセージを確認後“戻る”ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。

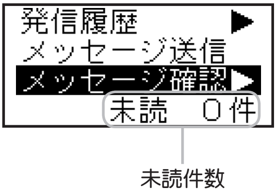
※ VX-D591UCATにメッセージを送ることはできません。

メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

① 待ち受け画面で“機能”ボタンを 2 秒以上押します。

② ロータリースイッチをまわして“メッセージ確認”を選択し、“選択”ボタンを押します。



③ メッセージの着信履歴が表示されます。

- ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。
- ▶ ボタンでを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます（▶ ボタンでキャンセル）。

④ “戻る”ボタンを押します。

- 着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

拡張機能　～コールモード～

自局 ID、UC（ユーザーコード）、秘話 ID など、通信時に使用する情報や機能の設定（16 項目）をおこなうことができます。

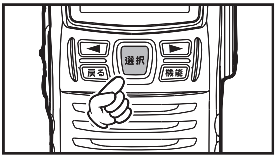
※（D）：デジタル通信時に有効な設定項目
（A）：アナログ通信時に有効な設定項目

項 目	初期値	設定値	機 能
C01 通信方式（D）	UC 通信	個別通信 /UC 通信	デジタル通信時の通信方式の選択
C02 UC（D）	000	000 ～ 511	UC（ユーザーコード）の設定
C03 自局 ID（D）	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C04 グループ ID（D）	201	201 ～ 230	グループ ID の設定
C05 通信方式（A）	一斉	セレコール / 一斉	アナログ通信時の呼び出し方式の設定
C06 UC（A）	01	00 ～ 99	アナログ通信時の UC（ユーザーコード）の設定
C07 自局 ID（A）	01	01 ～ 80	アナログ通信時の自局 ID の設定
C08 グループ ID（A）	81	81 ～ 98	アナログ通信時のグループ ID の設定
C09 個別ベル	1	0/1/2/3/4/5	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C10 グループベル	0	0/1/2/3	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C11 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C12 固定宛先（D）	000	000 ～ 230	デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C13 固定宛先（A）	99	01 ～ 99	アナログ個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C14 緊急個別 ID	***	000 ～ 255	緊急を知らせたい相手局の ID 設定（アナログ通信では設定できません）
C15 通話保持時間	5	5/10/15/30/60（秒）/CONT	個別通信時の通話保持時間の設定
C16 秘話 ID	OFF	OFF/$01 ～ $20	プリセット秘話コードの選択。あらかじめ $01 ～ $20 に、最大 20 種類の秘話鍵をプリセット可能。

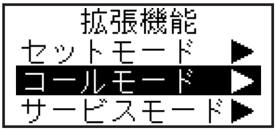
拡張機能（コールモード）の基本的な操作方法を右ページに記します。
各項目の具体的な操作方法は、32 ページ以降を参照してください。

① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら、電源を入れます。

○ 拡張機能の選択画面が表示されます。



② ロータリースイッチをまわして“コールモード”を選択します。



③ “選択”ボタンを押します。

○ パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。

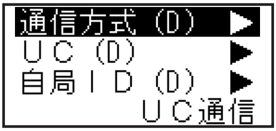
1．ロータリースイッチで数字を選択します。

2．◀/▶ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。

3．入力が終わったら“選択”ボタンで決定します。

4．正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。

④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。



⑤ “選択”ボタンを押します。

⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。

⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C01 通信方式 (D) ～デジタル通信で使用する設定です～

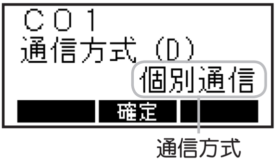
UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通信方式 (D)”の表示にあわせます。
   ○ 現在の通信方式が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の通信方式を選択します。
   “UC 通信” ：デジタル UC 通信方式で運用するとき。
   “個別通信”：デジタル個別通信方式で運用するとき。



⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C02 UC(D)　～デジタル UC 通信で使用する設定です～

UC(ユーザーコード)を変更することができます。　※ UC ＝ユーザーコード

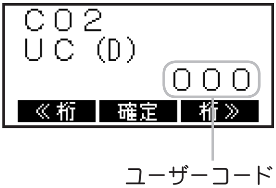
① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“UC(D)”の表示にあわせます。

○ 現在のユーザーコードが表示されます。

○ ユーザーコードの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにユーザーコードが設定されており、変更することができません。

○ 現在の値が表示されていても、次の③の操作にて“選択”ボタンを押しても値が変更できない場合は、販売店によりユーザーコードの変更が禁止された状態になっています。これらの状態でユーザーコードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



③ “選択”ボタンを押します。

○ ユーザーコードの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

○ 設定できるユーザーコードは“000”～“511”です（512 以上の数字にあわせることはできますが、設定することはできません）。

○ ユーザーコードの“000”は、特別なユーザーコードとして扱われ、受信時は、ユーザーコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。

⑤ ▶ ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。

○ ◀ ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3 桁のユーザーコードを設定します。

⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C03 自局ID(D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

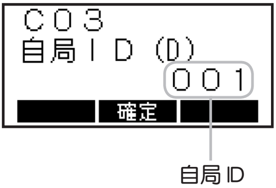
無線機に設定されている自局の ID を変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“自局ID(D)”の表示にあわせます。
　○ 現在の自局 ID が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
　○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
　○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



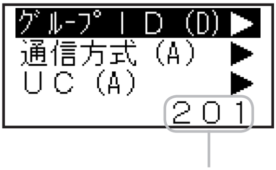
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C04 グループ ID(D) ～デジタル個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されているグループ ID を変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“グループ ID(D)”の表示にあわせます。
- ○ 現在のグループ ID が表示されます。
- ○ 現在のグループ ID に“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループ ID が登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。



現在のグループ ID

③“選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の ID を選択します。
- ○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- ○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

グループ ID

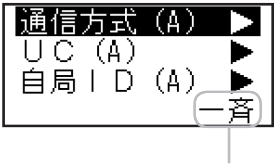
⑤“選択”ボタンを押します。その後電源を切ると変更は終了です。

C05 通信方式 (A) ～アナログ通信で使用する設定です～

呼び出し方式を切り換えることができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通信方式 (A)”の表示にあわせます。
- ○ 現在の呼び出し方式が表示されます。



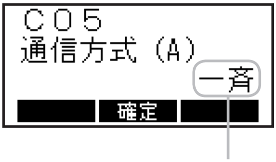
現在の呼び出し方式

③“選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の呼び出し方式を選択します。

“一斉” ：同じトーンを設定した局を呼び出すことができる“トーン”方式で運用するとき。

“セレコール”：指定した相手局を呼び出すことができる“セレコール”方式で運用するとき。



呼び出し方式

⑤“選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C06 UC(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

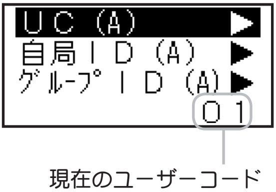
アナログ個別通信用のUC(ユーザーコード)を変更することができます。

※UC＝ユーザーコード

① 31ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“UC(A)”の表示にあわせます。

○ 現在のユーザーコードが表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

○ ユーザーコードの十の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。

○ 設定できるユーザーコードは“00”～“99”です。

⑤ ▶ボタンを押すと、カーソルが右の桁に移動します。

○ ◀ボタンを押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、ユーザーコードを設定します。

⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C07 自局 ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、自局のアナログ通信用 ID を変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“自局 ID(A)”の表示にあわせます。
　○ 現在の自局 ID が表示されます。

現在の自局 ID

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
　○ 設定できる ID は、“01”～“80”です。
　○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
　○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

自局 ID

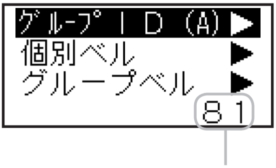
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C08 グループ ID(A) ～アナログ通信で使用する設定です～

無線機に設定されている、アナログ通信用のグループ ID を変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“グループ ID(A)”の表示にあわせます。
 ○ 現在のグループ ID が表示されます。



現在のグループ ID

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
 ○ 設定できる ID は、“81”～“98”です。
 ○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
 ○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

グループ ID

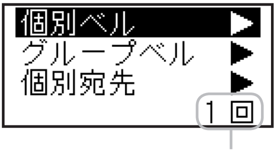
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C09 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“個別ベル”の表示にあわせます。
 ○ 現在の電子音が鳴る回数が表示されます。



現在の電子音が鳴る回数

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
 ○ 設定できる回数は“0”～“5”です。

電子音が鳴る回数

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C10 グループベル

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“グループベル”の表示にあわせます。

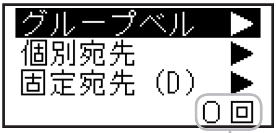
○　現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。

○ 設定できる回数は“0”～“3”です。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数

電子音が鳴る回数

C11 個別宛先　～デジタル個別通信で使用する設定です～

応答待ち時間 (通話タイマー) が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“個別宛先”の表示にあわせます。

○ 現在の設定が表示されます。

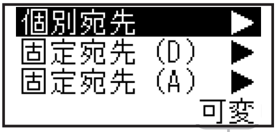
③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。

“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先の ID を表示します。

“固定”：あらかじめ設定している（C12　固定宛先で設定) 呼び出し先の ID 表示に変わります。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定

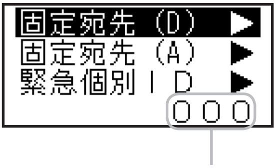
設定

C12 固定宛先（D） ～デジタル個別通信で使用する設定です～

デジタル個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 31ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

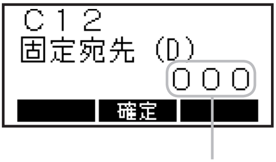
② ロータリースイッチをまわして、“固定宛先（D）”の表示にあわせます。
   ○ 現在設定されているIDが表示されます。



現在の固定宛先ID

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
   ○ 設定できるIDは“000”～“230”です。
   ○ あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。
   ○ 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



固定宛先ID

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C13 固定宛先 (A) ～アナログ個別通信で使用する設定です～

アナログ個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

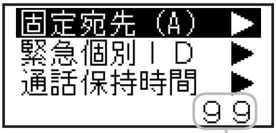
① 31 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“固定宛先 (A)”の表示にあわせます。
  ○ 現在設定されている ID が表示されます。

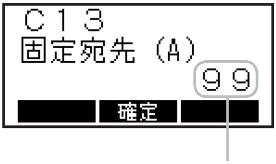
③ “選択” ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の数字を選択します。
  ○ 設定できる ID は、“01” ～ “99” です。
  ○ あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
  ○ 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ “選択” ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



現在の固定宛先



固定宛先

C14 緊急個別 ID ～デジタル個別通信で使用する設定です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる “緊急一斉” に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局の ID を変更できる “緊急個別” 方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎ 緊急一斉
同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

◎ 緊急個別
特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

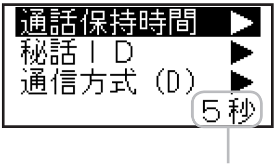
C15 通話保持時間

応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

① 31ページの①～③の操作をおこない、コールモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通話保持時間”の表示にあわせます。

○ 現在の設定時間が表示されます。

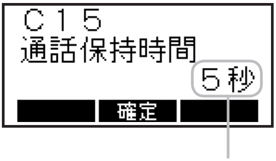


現在の設定時間

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望する応答待ち時間を選択します。

○ 設定できる時間は“5秒”、“10秒”、“15秒”、“30秒”、“60秒”、“CONT”（連続）です。



設定時間

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

C16 秘話 ID　~デジタル通信で使用する設定です~

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 31 ページの①~③の操作をおこない、コールモードにします。

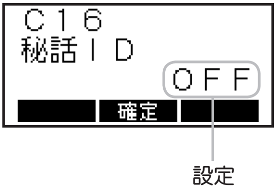
② ロータリースイッチをまわして、“秘話 ID”の表示にあわせます。

○ 現在の設定が表示されます。

○ “ALL OFF”が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択します。



“$01 ~ $20”	:	設定した秘話コードで秘話機能が動作します。
“OFF”	:	秘話通信機能がオフになります。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

○ 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに“秘”が点灯します。

○ 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。

○ お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電気的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。

○ 秘話信号を受信すると、LED ランプが青色で点滅します。

○ 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED ランプが青色で点灯します。

拡張機能　～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定（19 項目 ）をおこなうことができます。

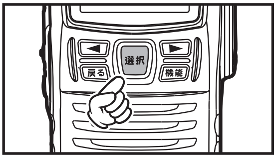
項 目	初期値	設定値	機 能
F01 ビープレベル	08	00 ～ 15	操作音（ビープ音）の音量設定
F02 外部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18	内部マイクの感度設定
F04 ロータリー	チャネル	チャネル /ID	ロータリースイッチの動作設定
F05 キーロック	前面	PTT/ 前面 / 上部 / 全て / 前面＋上部	キーロックの動作設定
F06 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F07 TX ビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F08 RX ビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F09 スケルチ	04	00 ～ 12	スケルチレベルの設定
F10 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F11 通話モード	デュアル	デュアル / アナログ デジタル	通信モードの選択
F12 送信出力制限	High 有効	High 有効 /Low 固定 受信専用	送信出力の設定
F13 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F14 不在着信ベル	OFF	OFF/ 5 秒毎 × 2 2 秒毎/1 分毎/ 連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F15 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定　※（D）
F16 電池残量表示	リチウム	リチウム / アルカリ	使用する電池の種類を選択
F17 ACC 電源	ON	ON/OFF	オプションのユニット（GPS ユニットなど）への電源供給の設定
F18 GPS モード	ポーリング	ポーリング / 定期送信	GPS による自局の位置情報送出条件の設定
F19 設定リセット	－	－	拡張機能の設定を初期値（御購入時の状態）に戻します

※（D）：デジタル個別通信時に有効な設定項目

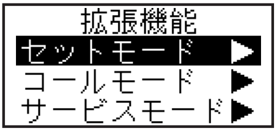
セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法は、46 ページ以降を参照してください。

① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら、電源を入れます。
○ 拡張機能の選択画面が表示されます。

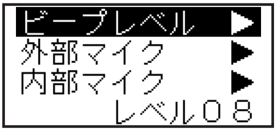


② ロータリースイッチをまわして“セットモード”を選択します。



③ “選択”ボタンを押します。
○ パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
○ パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
1．ロータリースイッチで数字を選択します。
2．◀/▶ボタンで桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
3．入力が終わったら“選択”ボタンで決定します。
4．正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。

④ ロータリースイッチをまわして、設定したい項目を選択します。



⑤ “選択”ボタンを押します。
⑥ ロータリースイッチをまわして、設定値を変更します。
⑦ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
② ロータリースイッチをまわして、“ビープレベル”の表示にあわせます。
○ 現在の音量レベルが表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、希望の音量を選択します。
○ 設定できる音量レベルは “00” ～ “15” です。
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F02 外部マイク

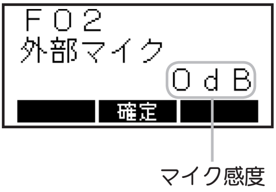
外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”の表示にあわせます。
○ 現在のマイク感度が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。
○ マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

（低）“-18”↔“-12”↔“-6”↔“-3”↔“0”↔“+3”↔“+6”↔“+10”（高）

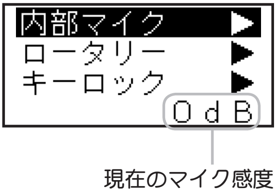
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



F03 内部マイク

マイク感度を設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。



② ロータリースイッチをまわして、“内部マイク”の表示にあわせます。
　○ 現在のマイク感度が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。
　○ マイク感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

（低）“-18”↔“-12”↔“-6”↔“-3”↔“0”↔“+3”↔“+6”↔“+10”（高）

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F04 ロータリー

ロータリースイッチの動作を変更することができます。

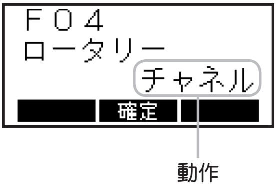
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ロータリー”の表示にあわせます。
　○ 現在の動作が表示されます。

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。
　“チャネル”：ロータリースイッチをまわすと、運用チャンネルが変わります。
　“ID”：　ロータリースイッチをまわすと、呼び出し先 ID が変わります。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



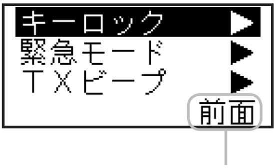
F05 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“キーロック”の表示にあわせます。

○ 現在の動作が表示されます。



現在の設定

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のロック範囲を選択します。

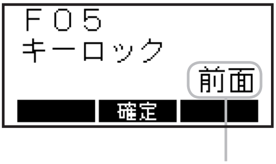
“前面”： 無線機前面にあるボタンがロックされます。

“上部”： ロータリースイッチがロックされます。

“全て”： ロータリースイッチ、無線機前面にあるボタン、PTT スイッチがロックされます。

“前面＋上部”：ロータリースイッチと無線機前面にあるボタンがロックされます。

“PTT”： PTT スイッチがロックされます。



設定

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

○ 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。

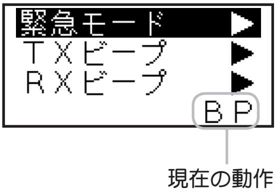
○ モニターボタン、ロックボタン、緊急ボタンはロックされません。

F06 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

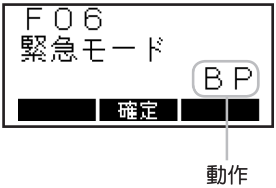
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“緊急モード”の表示にあわせます。
○ 現在の動作が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の動作を選択します。



“BP” ： 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

“T” ： 自局の ID を含んだ緊急信号を送出します。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中に PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。
※ この設定は、個別通信時のみ動作いたします。

“S” ： サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示と LED は緊急動作中も変化しません。また、デジタルチャンネルの場合は、緊急動作中に PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、相手局と通話することができます。
※ この設定は、デジタル個別通信時のみ動作いたします。

“BP+T”： 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。
※ この設定は、アナログ一斉通信時および、デジタル UC 通信時には“BP”の動作を行います。

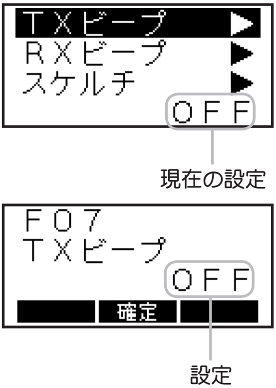
“OFF” ： 緊急アラーム機能は動作しません。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F07 TXビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

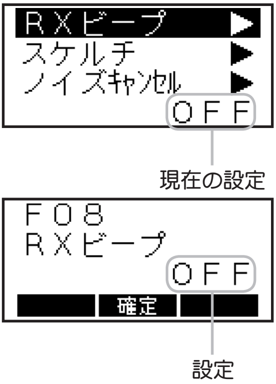


② ロータリースイッチをまわして、“TX ビープ”の表示にあわせます。
○ 現在の設定が表示されます。
③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、TX ビープのオン / オフを選択します。
“ON” ：TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
“OFF”：TX ビープの動作がオフになります。
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F08 RXビープ　～デジタル通信で使用する機能です～

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。
デジタル個別通信時または、“000”以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。



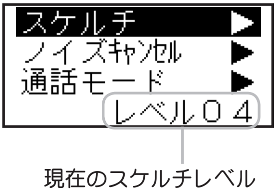
② ロータリースイッチをまわして、“RX ビープ”の表示にあわせます。
○ 現在の設定が表示されます。
③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、RX ビープの ON/OFF を選択します。
“ON” ：RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。
“OFF”：RX ビープの動作がオフになります。
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F09 スケルチ　～アナログ通信で使用する機能です～

信号を受信していない時の耳障りなノイズを消す“スケルチ回路”のレベルを設定することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“スケルチ”の表示にあわせます。
　○ 現在のスケルチレベルが表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のレベルを選択します。
　○ 設定できるレベルは“00”～“12”です。
　○ “00”に設定すると、アナログ通信方式では、常に“ザー”というノイズが聞こえる状態になります。

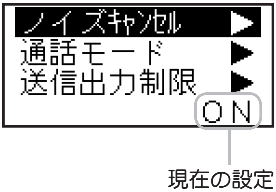
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F10 ノイズキャンセル機能　～デジタル通信で使用する機能です～

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」を ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ノイズキャンセル”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。



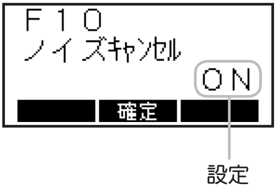
③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、ノイズキャンセル機能の ON/OFF を選択します。

“ON”：ノイズキャンセル機能が動作します。

“OFF”：ノイズキャンセル機能がオフになります。

　○ ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。



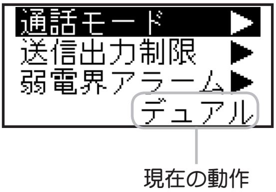
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F11 通話モード

本機で使用できる通信方式（アナログ通信とデジタル通信）を設定することができます。使用できる通信方式は、免許内容により異なりますので、詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

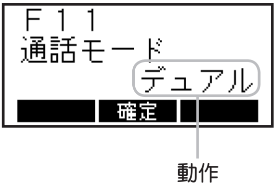
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“通話モード”の表示にあわせます。
　○ 現在の動作が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。
　“**デュアル**”：デジタルとアナログ、両方の通信方式を利用することができます。
　“**デジタル**”：デジタル通信方式のみ、利用することができます。
　“**アナログ**”：アナログ通信方式のみ、利用することができます。



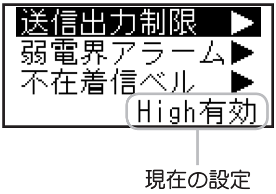
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F12 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“5W”と“1W”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“1W”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“送信出力制限”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。
　“High 有効”：　送信出力が 5W に設定されます。
　“Low 固定”：　送信出力が 1W に設定されます。
　“受信専用”：　PTT ボタン（送信ボタン）を押しても、送信しなくなります。

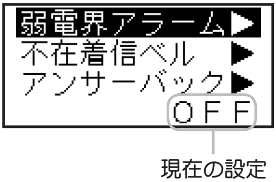
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。
　○ ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の設定を“High 有効”にしても、実際の送信出力は“Low 固定”（1W）となります。

F13 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

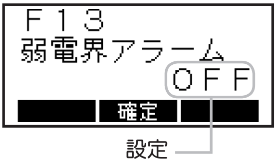
① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“弱電界アラーム”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、弱電界アラームの ON/OFF を選択します。
　“ON”：　受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。
　“OFF”：弱電界アラームの動作がオフになります。



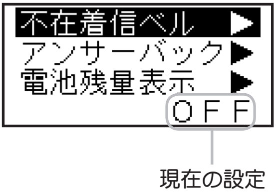
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F14 不在着信ベル

相手からの個別呼び出し受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。
なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“不在着信ベル”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。
　“OFF”　　：不在着信ベルの動作がオフになります。
　“5秒毎×2”：着信後、5秒間経過するとベルが鳴り、更に5秒間経過すると再度ベルが鳴ります。
　“2秒毎”　：着信後2秒毎にベルが鳴ります。
　“1分毎”　：着信後1分毎にベルが鳴ります。
　“連続”　　：着信するとベルが鳴り続けます。

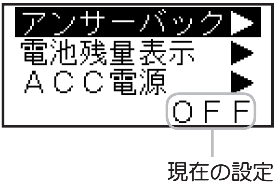
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F15 アンサーバック　～デジタル個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“アンサーバック”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。



③ “選択”ボタンを押します。

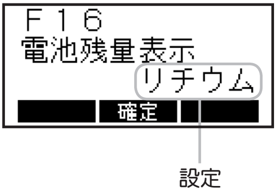
④ ロータリースイッチをまわして、アンサーバックの ON/OFF を選択します。
　“ON”：アンサーバック機能が動作します。
　“OFF”：アンサーバックの動作がオフになります。

⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F16 電池残量表示

ディスプレイの“電池残量表示”の精度を上げるため、使用する電池の種類を設定してください。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
② ロータリースイッチをまわして、“電池残量表示”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。
③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、使用する電池パックの種類にあわせます。
　“リチウム”：リチウムイオン電池パックを使用する際に選択します。
　“アルカリ”：アルカリ電池を使用する際に選択します。
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。



F17 ACC 電源

GPS ユニットなどのオプションユニットを装着した際、オプションユニットへの電源供給を ON/OFF することができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。
② ロータリースイッチをまわして、“ACC 電源”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。
③ “選択”ボタンを押します。
④ ロータリースイッチをまわして、電源供給の ON/OFF を選択します。
　“ON”：オプションユニットに電源を供給します。
　“OFF”：オプションユニットへの電源供給は行いません。
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F18 GPSモード

GPSによる、自分の位置情報の送出条件を設定します。なお、位置情報の送出には、オプションのGPSユニットが必要です。

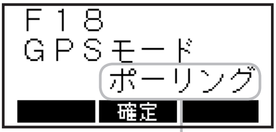
① 45ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“GPSモード”の表示にあわせます。
　○ 現在の設定が表示されます。

現在の設定

③ “選択”ボタンを押します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。
　“ポーリング”：他の局から要求があったときのみ、自局の位置情報を送出します。
　“定期送信”：一定時間ごとに、自局の位置情報を送出します。



設定

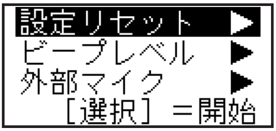
⑤ “選択”ボタンを押します。その後電源を切ると設定は終了です。

F19 設定リセット

拡張機能の設定を､ご購入時の状態（販売店設定値）に戻すことができます。

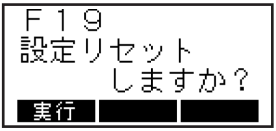
① 45ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“設定リセット”の表示にあわせます。



③ “選択”ボタンを押します。

④ “◀”ボタンを押すと、設定がリセットされます。
　○ リセットを中止する場合は、“戻る”ボタンを押してください。

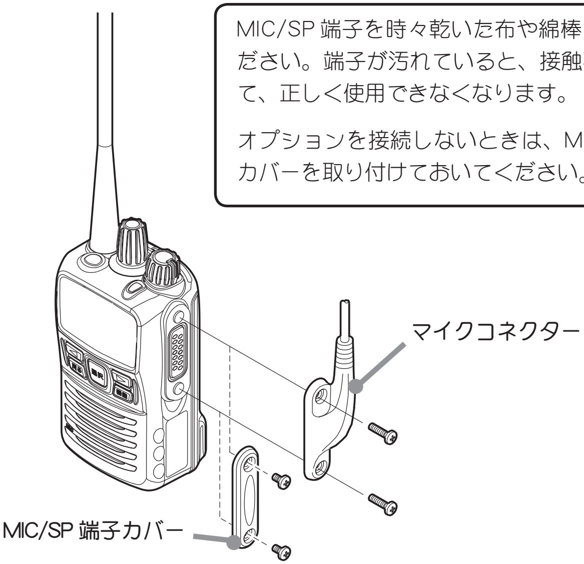


オプションマイクの取り付け

MIC/SP 端子カバーのビスを外し、マイクコネクターに付属のビスで取り付けます。

MIC/SP 端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。

オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子カバーを取り付けておいてください。



オプションマイクの感度切り替え方法

オプションマイクを使用した際、マイクの感度が高すぎる場合は、マイクの感度を下げることができます。

① 45 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“外部マイク”を表示させて、“選択”ボタンを押します。

③ ロータリースイッチで希望の感度を選びます。

〇マイクの感度は、下記の 8 段階から選択することができます。

（低）“-18”↔“-12”↔“-6”↔“-3”↔“0”（標準）↔“+3”↔“+6”↔“+10”（高）

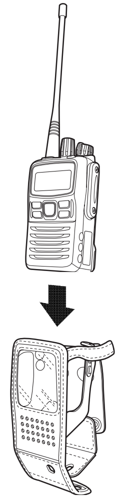
④ “選択”ボタンを押します。

⑤ 電源を切ると設定は終了です。

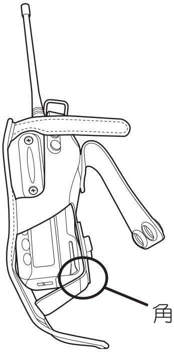
キャリングケース“LCC-D450”の使いかた

LCC-D450 は、“FNB-V86/-V118 シリーズ”または“FNB-V87 シリーズ”を装着した VX-D450U で使用することができます。

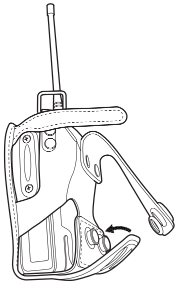
1．キャリングケース“LCC-D450”に、VXD450U を入れます。
※ ホールド性を良くするために、若干きつく作られています。



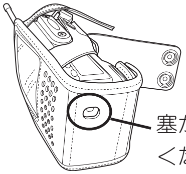
2．電池パックの角とキャリングケース背面カバーの折り目を合わせます。



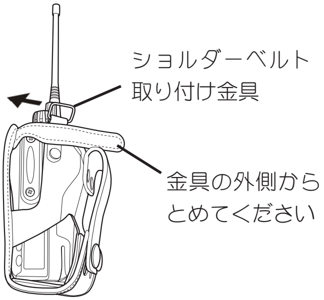
3．キャリングケース前面カバーの穴を、背面カバーのボタンに通します。



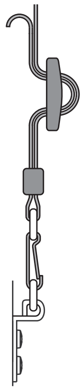
注意：VXD450U 底面にある、ノイズキャンセリングマイク孔が塞がっていないことを確認してください。塞がっていると、ノイズキャンセルの効果が得られない場合があります。



4．ショルダーベルト取り付け金具を前方向に押し付けながら、マジックテープを金具の外側からしっかりととめてください。

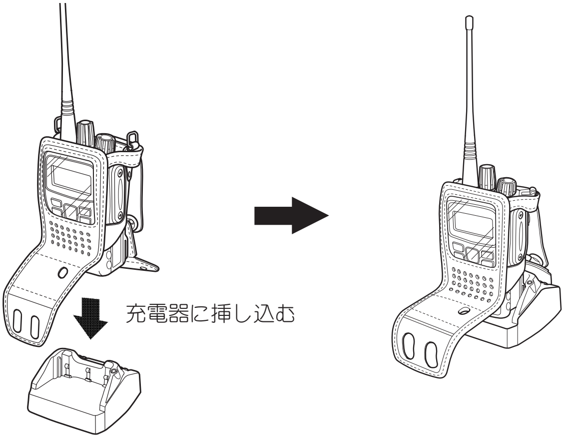


必要に応じて、キャリングケースの金具に、LCC-D450 に付属のショルダーベルトを取り付けます。



充電する際は、下図のようにキャリングケースの底面を開くだけで充電器にセットすることができます。

注意：背面カバーのボタンと充電器の端子をショートしないように注意してください。感電や充電器を破損することがあります。



故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

・リチウムイオン電池パックまたはアルカリ乾電池が消耗していませんか？
➠リチウムイオン電池パック使用時
リチウムイオン電池パックを充電してください。
➠乾電池ケース“FBA-34”使用時
新しいアルカリ乾電池に交換してください。

・リチウムイオン電池パックまたは FBA-34 の端子が接触不良になっていませんか？
➠端子を乾いた布で拭いてください。

・リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか？
➠リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない！

・PTT（通話）ボタンを正しく押していますか？

・送信出力の設定が“受信専用”になっていませんか？

◎ 通話できない！

・相手局と同じチャンネルに設定していますか？

・相手局との距離が離れすぎていませんか？

・相手局と同じ通信方式に設定していますか？
➠アナログ通信方式とデジタル通信方式間では、交信することはできません。

・デジタル通信の場合、相手局と同じユーザーコードに設定していますか？

・デジタル通信の場合、秘話通信機能が動作していませんか？
➠お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

八重洲無線株式会社　国内営業部
〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8　天王洲パークサイドビル
電話：03-6711-4055

定　格

一般

送受信周波数：	アナログチャンネル（12.5kHz 間隔、35 波） 465.0375MHz ～ 465.1500MHz 468.5500MHz ～ 468.8500MHz デジタルチャンネル（6.25kHz 間隔、65 波） 467.0000MHz ～ 467.4000MHz
電波型式：	F3E（アナログ）、F1E（デジタル）
通信方式：	単信（プレストーク）方式
電池持続時間：	FNB-V118 シリーズ　約 8 時間 FNB-V87 シリーズ　約 14 時間 FNB-V92 シリーズ　約 18 時間 （送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待ちうけ 90 の繰り返し）
電源電圧：	DC 7.4V ± 10%
消費電流：	DC 7.4V　送信時（出力 5W 時）　約 1.6A 受信待ち受け時　約 80mA 受信定格出力時　約 350mA
温湿度範囲：	温度　－ 20℃～＋ 60℃ 湿度　95%（35℃）
本体寸法：	56mm × 96mm × 39mm（FNB-V118LI 使用時）
本体重量：	約 295g（FNB-V118LI，ベルトクリップ，アンテナを含む）

※ RoHS 指令対応

送信部

空中線電力	5W/1W(＋20%、−50%以内)
空中線インピーダンス	50Ω 不平衡
発振方式	水晶発振制御による周波数シンセサイザー方式
周波数許容偏差	±1.5ppm以内
変調方式	4値FSK(デジタル) 可変リアクタンス周波数変調(アナログ)
占有周波数帯域幅	5.8kHz以下(デジタル) 8.5kHz以下(アナログ)
最大周波数偏移	±1324Hz以内(デジタル) ±2.5kHz以内(アナログ)
隣接チャンネル漏洩電力	−52dB以下(デジタル、5W時) −65dB以下(アナログ、5W時)
総合歪及び雑音	1kHz、70%変調にて20dB以上
スプリアス発射	2.5μW以下
不要輻射	2.5μW以下
標準変調入力	−44dBm±5dB(1kHz 60%変調)
変調入力インピーダンス	600Ω
変調周波数特性	アナログ 1kHzを基準として 0.3kHz −15dB±5dB 3kHz 6dB±5dB

受信部

受信方式	ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中間周波数	第一 50.85MHz 第二 2.304MHz
局部発振周波数	第一 受信周波数−50.85MHz 第二 48.546MHz
局発周波数変動	±1.5ppm以内
受信感度	−2dBμV(BER=1%)(デジタル) −8dBμV以下(12dB SINAD)(アナログ)
総合歪及び雑音	20dB以上(1kHz 70% 10μV入力時)
スプリアスレスポンス	53dB以上(BER=1%)(デジタル) 70dB以上(アナログ)
隣接チャンネル選択度	6.25KHz 42dB以上(BER=1%)(デジタル) 12.5KHz 65dB以上(アナログ)
相互変調特性	53dB以上(BER=1%)(デジタル) 60dB以上(±12.5kHz、±25kHz)(アナログ)
スケルチ感度	−10dBμV以下
低周波出力	0.7W以上(10%歪時)
低周波出力インピーダンス	16Ω
副次的に発する電波等の強度	4nW以下

オプション

◎ 薄型リチウムイオン電池パック： FNB-V86/-V118 シリーズ
◎ 標準型リチウムイオン電池パック： FNB-V87 シリーズ
◎ 大容量リチウムイオン電池パック： FNB-V92 シリーズ
◎ 急速充電器： VAC-50A
◎ 連結型充電器： CD-51
◎ 連結型充電器用 AC アダプター： PA-47A
◎ 防水型スピーカーマイク： MH-66A7A
◎ GPS マイク： MH-84
◎ タイピンマイク＆イヤホン： EK-505W
◎ 小型タイピンマイク＆イヤホン： EK-313-581
◎ 咽喉マイク＆イヤホン： EM-01-581
◎ イヤホンマイク： EM-200A7A
◎ 小型スピーカーマイク： EK-404-581
◎ イヤホンアダプター： EA-581
◎ EA-581 用イヤホン： ME-101/100CM
◎ アルカリ単３乾電池ケース： FBA-34
◎ ショートアンテナ： ATU-12G
◎ クイックリリースブラケット： CLIP-17B
◎ キャリングケース： LCC-D450

詳細等はカタログ及び八重洲無線株式会社のホームページ http://www.yaesu.com/jp/ を参照してください。

メ　モ

STANDARD

バーテックススタンダードＬＭＲ合同会社
〒 108-0023 東京都港区芝浦 4-6-8 田町ファーストビル（6 階）

EC106U006

© 2013 バーテックススタンダードＬＭＲ合同会社
無断転載・複写を禁ず

中国印刷